

WEEKLY REPORT

第2730地区

2014～15年度

南九州大崎ロータリークラブ週報



RI会長: ゲイリーC.K.ホアン

ガバナー: 田中俊實(鹿屋RC)

例会日: 毎週木曜日 第1週のみ12:30～ 第2・3・4・5週は、19:30～

例会場: 温泉施設 あすばる大崎(大崎町 神領2419) TEL099-471-6666

会長: 溝口鉄二郎 TEL099-471-2188 / 幹事: 市坪新悟 TEL099-478-2104

事務局: 鹿児島県曾於郡大崎町永吉 6059番地 TEL476-2461・Fax 476-2491

2014～15年度RIテーマ

<http://www.mko-rc.jp/>

E-mail: oosaki@mko-rc.jp

第786回例会

平成26年11月5日(水)11:30～(溝口年度 第17号)

◆本日のプログラム

『青少年との野外活動』

担当: 青少年奉仕

大崎町立大丸小学校訪問

集合11:20 例会11:30～

◆ロータリーソング

・君が代・奉仕の理想

・四つのテスト唱和

◆会務報告

☆独自の奨学金制度を持ち運営しているクラブ
情報提供のお願い

※当クラブ該当ありませんでした

☆財団室NEWS 2014年11月号

《11月例会変更のお知らせ》

【鹿屋西RC】

11/24(月)振替休日につき休会

【串良RC】

11/24(月)振替休日につき休会

【志布志みなとRC】

11/26(水)→23日(日)へ変更(サッカー大会)

【きもつきRC】

11/20(木)クラブ協議会の為 18:30～やぶさめ館
時間未定 しおかぜ公園

《スマイル報告》

白山君はじめ、会員の皆様へ
「地区大会記念ゴルフ大会」の準備から当日のお手伝い
までありがとうございました。助かりました。
さすが仲間です。 久徳 博文

思わぬ事で、懐が暖かくなりました。このままだとネオンが見える所へ連れて行かれそうなのでスマイルします。

(財団へ) 今福 和幸

11月ロータリー財団月間(The Rotary Foundation Month)

RI理事会と、管理委員会は、毎年11月はこの月間を遵守すること、月間中、クラブは少なくとも1つのクラブ・プログラムを財団のために実施することを決定しました。月間中は、ロータリー財団補助金受領者その他(例えばロータリー財団国際親善奨学生など)が、クラブ例会や教育機関や地域社会の会合で、ロータリー財団について講演するよう、示唆されています。財団の奨学金事業、および人道的諸事業についての知識と理解を深め、財団の推進に役立つプログラムを実施してください。

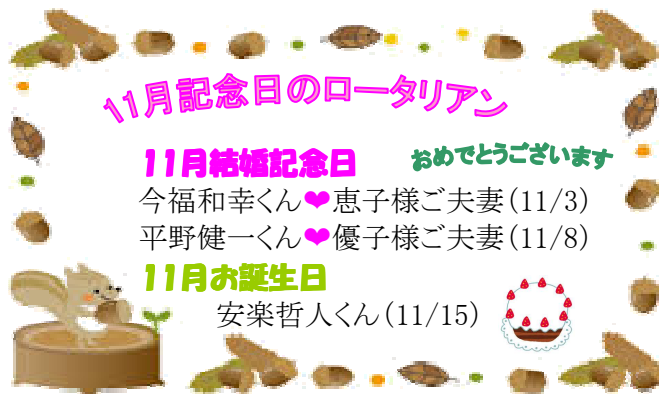
田中俊實ガバナー慰労会開催

日時: 平成26年12月5日(金) 19:00～21:00

場所: ホテルさつき苑

会費: 4,000円

※マイクロバス送迎があります 締切11/21(金)



11月記念日のロータリアン

11月結婚記念日 おめでとうございます

今福和幸くん♥恵子様ご夫妻(11/3)

平野健一くん♥優子様ご夫妻(11/8)

11月お誕生日

安楽哲人くん(11/15)

【次週例会のご案内】

例会

11月13日(木) 19:30～ あすばる大崎にて

プログラム「R財団について」 担当: R財団

出席報告	10	会員数	26名	10	出席率	53.85%	鹿屋西	月	3	祝日休会	10	通常例会	昼	
		出席数	15名		出席数	15名	串良	月	3	祝日休会	10	通常例会	昼	
		出席率	57.69%		修正出席率	57.69%	志布志	火	4	2日へ変更	朝	11	通常例会	昼
	30	欠席者: 安楽・大野・中倉		18	メイクアップ: 新小倉		志布志みなと	水	5	通常例会	夜	12	通常例会	昼
		玉田・徳重・松永・有満			鹿屋	水	5	通常例会	昼	12	通常例会	昼		
		竹下・上村・川崎・豊住			かのや東	木	6	通常例会	昼	13	通常例会	昼		
						きもつき	木	6	通常例会	昼	13	通常例会	昼	

出席率向上に努めましょう!



今月はR財団月間です

～ROTARY HPより～

世界ポリオデー

保健のエキスパートが撲滅への進展と戦略について語る

世界ポリオデーにあたる10月24日、ロータリーとサノフィパスツール社による主催の下、米国シカゴで「世界ポリオデー：歴史に1ページを刻もう」と題する特別ライブストリームイベントが開かれました。今年で2年目となるこのイベントでは、グローバルヘルスの専門家がポリオ撲滅の進展と戦略について報告したほか、著名人による講演とパフォーマンスが行われました。

司会は『タイム』誌の科学・テクノロジー部編集者であるジェフリー・クルーガー (Jeffery Kluger) さんが務めました。世界からポリオを撲滅することを目指す「世界ポリオ撲滅推進計画 (GPEI)」は、ロータリーをはじめ、世界保健機関 (WHO)、ユニセフ、米国疾病対策センター (CDC)、ビル&メリンダ・ゲイツ財団といったパートナー団体が30年近く前から実施しているもので、2018年までにポリオを世界から撲滅することを目標としています。今年3月には、WHOが指定する東南アジア地域 (11カ国) が「ポリオフリー」(ポリオのない地域) と宣言され、現在は世界人口の80%がポリオフリーと認定された国や地域に住んでいます。世界での撲滅が実現すれば、ポリオは天然痘に次ぎ、世界で2番目に撲滅された疾病となります。

このイベントにビデオメッセージを寄せた CDC のトム・フリーデン所長は、次のように述べています。「ポリオのない世界は、これまでになく実現に近づいています。(中略) 来月には、3型ポリオウイルスによる最後の感染から2年が経ち、3型はほぼなくなったと言ってよいでしょう。これで、世界に残るのは1型ウイルスだけです」

今年、全世界のポリオ発症数は247件(昨年同時期は298件)。この数字からは大きな進展はないように見られますが、今年にポリオの突発的流行が起きたパキスタン以外での発症数は、わずか35件(昨年同時期は187件)。つまり、全世界のポリオ発症数のうち、85%がパキスタン国内で報告されています。

一方、パキスタン、アフガニスタンと並ぶポリオ常在国の1つ、ナイジェリアで今年に報告された発症数は、わずか6件にと

どまっています。フリーデン所長は、ビデオメッセージの中で次のように述べています。「ナイジェリアでは、今年中にウイルス感染を食い止められる可能性が高まっています。(中略) 同国では、ポリオ予防接種がよく行き届いており、緊急運営センターを設置して積極的なアプローチを用いています。さらに、治安のよくない地域に住む子どもたちも予防接種が受けられるよう、画期的な方法が採用されています」このポリオ緊急運営センターは、同国でエボラ出血熱の感染者が出た際にも迅速かつ効果的に対応し、感染拡大を阻止する上で大きな役割を果たしました。

イベントには、CDCのシニア・メディカル疫学者であるジェームズ・アレキサンダーさんも出席しました。アレキサンダーさんによると、今年、アフガニスタンで報告されたポリオ症例のほとんどは、パキスタンからのウイルスの流入によるものです。同国では、緊急対策計画のおかげで過去2年間に大きな進展が見られています。「2015年にもこの勢いを保つため、国の新しいリーダーからの協力を得るとともに、予防接種をまだ受けていない子どもたちに矛先を集中させる必要がある」とアレキサンダーさんは述べています。

イベントでは次に、世界最大のポリオワクチン製造元であるサノフィパスツール社のオリヴィエ・シャーマイユ CEO によるビデオメッセージが上映されました。シャーマイユ CEO はこの中で、ネパールをはじめとする120カ国で、今後数カ月間に不活化ポリオワクチン (IPV) が導入されると報告。また、世界のすべての国における定期予防接種にIPVが導入される予定であると述べました。「私たちは、世界が“ポリオフリー”と宣言されるその日を、ロータリーやそのほかの国際的パートナーの皆さんと一緒に祝えることを楽しみにしています」と語りました。

イベントで挨拶したロータリーのジョン・ヒューコ事務総長も、「GPEIは、歴史上もっとも野心的な官民パートナーシップ」と述べます。「ポリオがこの世界からなくなれば、身体障害をもたらすこの恐ろしい病から子どもたちを守るだけでなく、ポリオ撲滅で築いたノウハウやインフラを、ほかの主なグローバルヘルスの取り組みに生かしていけるでしょう」

GPEIの開始以来、25億人以上の子どもに予防接種を行い、ポリオ発症数は1988年の年間35万件から、2013年には416件にまで減少しています。ユニセフは、この取り組みのおかげで推定1,000万人が感染をまぬがれ、150万人の命が救われたと見積もっています。

ロータリーがポリオ撲滅活動を開始した1979年以来、ロータリーが寄付した資金は実に120億ドル(約1,292億円)に上ります。今週初め、ロータリーはさらに4,470万ドル(約48億円)の資金をポリオ撲滅に追加投入することを発表しました。

